

第 86 回東京陸上競技選手権大会(混成競技・リレー競走)

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は2023年度日本陸上競技連盟規則ならびに本競技会大会要項により実施する。

2 新型コロナウイルス等感染拡大防止について(競技者及び来場者に関して)

- (1) 感染症対策については、各自で感染予防に努めること。
- (2) 来場にあたっては、3つの密(密閉、密集、密接)を避けた行動を推奨する。
- (3) マスクについては個人の判断に任されているが、人が密集する場所では、着用を推奨する。
- (4) 新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどによる感染症罹患中及び快復後十分な時間を経過していない場合には競技会へ参加しない、また競技会場において観戦しないこと。
- (5) 発熱、咳嗽等の症状がある者は競技会に参加しない、また競技会場において観戦しないこと。
- (6) こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒を励行すること。
- (7) 日々の体調管理を推奨する。

3 受付について

- (1) 競技者受付は正面スタンド入口脇の競技者インフォメーション(TIC)にて行う。受付の際には、アスリートビブス、プログラムを配布する。
- (2) プログラムに記載ミス(氏名、所属等)があった場合に遅くとも出場する競技の90分前(混成競技は75分前)までにTICに申し出ること。記録確定以後の訂正(賞状・記録証の訂正を含む)には、一切応じない。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用している。

4 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは競技場内で行うことができる。
- (2) ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技の運営上、制限することがある。ウォーミングアップ中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- (3) 七種競技のトラック種目の練習は下記の通りとし、フィールド種目の練習は競技開始30分前から行うことができるが、すべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。

種目	練習場所	時間
100mH	ホームストレート(3・4レーン)	1日目 9:10~9:45

*200mについては、女子200mの競技終了次第

- (4) 周回レースが行われていない時間帯は、バックストレートを開放する。

5 招集について

- (1) 招集所は100m スタート地点脇のダッグアウト内に設ける。
- (2) 各競技の招集開始時刻・招集完了時刻、リレーオーダー用紙提出締切時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。なお、リレーオーダー用紙は、招集所に準備している。混成競技の招集は1日目、2日目の最初の競技種目

のみ招集所で行う。なお、各日 2 種目以後の種目は各競技場所での招集を行うので、招集時刻は競技開始時刻の30分前に開始し、20分前に完了とする。競技者は混成競技系の指示を受けること。2種目以降から欠場する場合は、混成競技係に申し出ること。

(3) 招集の方法

- ① 競技者は定められた時間内(タイムテーブル参照)に招集所で競技者係による招集を受けること。
- ② その際、アスリートビブス・靴・スパイクピン・商標のチェックを行う。また、トラック競技に出場する競技者・チームは腰ナンバー標識を受け取ること。
- ③ ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- ④ 代理人が招集を受けることは認めず、招集完了時刻を超えた場合は、当該種目を棄権したものとして処理する。

6 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは主催者が2枚配布する。
- (2) アスリートビブスはそのままの大きさで胸と背部に確実に固定すること。跳躍競技は胸・背部のどちらかでよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を交付する。
- (4) 混成競技の最終種目においては、それまでの得点の順位により特別アスリートビブスを配付する。

7 競技場への入退場について

- (1) 競技場内への入退場はすべて競技役員の指示・誘導に従うこと。
- (2) トラック競技ではフィニッシュ後、フィニッシュライン脇の建物出入口からスパイクを脱いで、スタンド下の廊下を通じて更衣室に戻る。

8 競技及び競技方法について

- (1) 混成競技
 - ① 混成競技者控室は設けない。
 - ② 最終種目の競技開始前に、それまでの記録上位順に特別アスリートビブスを胸につける。
 - ③ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
 - ④ 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。但し、天候等の状況により変更することもある。

	練習	1	2	3	4	5	6	以後
走高跳女子	任意の高さ	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m60	3cm 刻み

*練習の高さは競技場所にて2~3段階提示され、競技者はその中から選択する。

- (2) リレー競技
 - ① レーン順は、プログラムに示した順とする。
 - ② リレーで使用するマーカーは、各チームで用意し、レース終了後必ず外すこと。

9 用器具について

- (1) 競技用器具は、主催者が用意したものに限る。また「やり」は、主催者が用意した投てき用具としてリストに複数本ないものは、公式計測員の検査を受けて合格したもの限り、2個まで個人所有のもの(日本陸上競技連盟検定品に限る)が使用(持ち込み)できる。検査に合格した「やり」は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。

- (2) 「やり」の持込を希望する競技者は、やり投実施日の9時20分までに、TIC に「投てき用具検査申請書」とともに「やり」を提出すること。受け付けた「やり」については、「預り証」を発行する。受け付けた「やり」は、競技終了後に TIC で「預り証」を確認のうえ返却する。

10 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは、9mm以内とし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) World Athletics (WA)が承認したシューズリストで No と記載されている靴については使用ができないので、各自で確認しておくこと。
<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>
- (3) 靴底の厚さについては、TR5 及び「競技用靴に関する規程」に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。
- (4) 使用された靴に関して審判長が確認のためが疑義を抱いた場合、競技終了後に提出を求めることがある。

11 更衣室について

2A・2B更衣室を女子用、3A・3B更衣室を男子用とする。更衣のみ行い、荷物を置かないこと。

12 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が電光掲示板で正式発表されてから30分以内に、競技者自身または代理人あるいはチームを代表する者がTICに申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。

13 表彰について

- (1) 優勝者には選手権章と賞状、第2位と第3位にはメダルと賞状、第4位から第8位には賞状を授与する。
- (2) 第3位までの入賞者は、表彰式にて表彰を行う。競技終了後、速やかにメインスタンド正面下の表彰者待機場所に集合すること。
- (3) 第4位以降の入賞者には、正式結果発表後 30 分を経過してから、TIC にて賞状を授与する。

14 製造会社のロゴやマークのついた衣類やバッグ類等について

競技場に製造会社のロゴやマークのついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。競技役員から指摘された場合は、その指示に従い、必ずテープ等を貼って隠すこと。

15 第107回日本陸上競技選手権大会参加資格について

- (1) 「第107回日本陸上競技選手権大会」の申込資格記録を突破している東京陸上競技協会登録競技者で、本競技会の当該種目において第3位以内に入賞した者は、各地域選手権で3位以内に入った者の中で、その申込資格記録が上位3位以内であった場合に、優先的に「第107回日本陸上競技選手権大会」に出場できる。
- (2) 詳細については、日本陸上競技連盟ホームページ大会情報
(<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1727/>)の「日本陸上競技選手権」参加資格を参照のこと。

16 欠場について

本競技会を欠場する者は東京陸協ホームページより欠場届の書式をダウンロードし、以下の要領で提出すること。

<4月14日(金曜日)以前>

下記宛てにメールにて送付する。

メールアドレス kyogikai@tokyo.nifty.jp

<競技会当日(4月15日(土曜日)～4月16日(日曜日))>

競技開始時刻の90分前(混成競技は75分前)までにTICに提出すること。

※競技会当日、会場に来場しない場合は、できるだけ上記のメールアドレスに前日の15:00までに送付すること。

17 その他

- (1) 競技中の応援・助言(指導)は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。
- (2) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (3) 主催者で預かった物品については一時保管するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。
- (4) 記録はその都度、アナウンス、電光掲示板及び記録結果携帯速報サイトに発表する。
- (5) 届けられた遺失物については、TICで4月16日競技会終了時まで保管する。
- (6) 次の種目の「第86回東京陸上競技選手権大会」については以下のとおり行う。
 - リレー、混成競技 以外:2023年4月22日～23日 国立陸上競技場
 - ハンマー投:2023年5月5日 大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場
 - 男子20km競歩、女子10km競歩:第72回元旦競歩大会(2024年1月1日)
- (7) 記録証は1部300円で発行する。希望者はTICに申し出ること。ただ15:20までに受け付けた場合のみ当日に発行する。
- (8) 提出書類等については以下のとおりとする。

	提出書類等	配付・提出先	提出締切時刻
1	プログラム訂正届	TIC	競技開始時刻の90分前(混成競技は75分前)まで
2	欠場届(競技会当日)	TIC	競技開始時刻の90分前(混成競技は75分前)まで
3	投てき用具検査申請書	TIC	やり投実施日の9時20分まで
4	抗議申立(口頭)	TIC	正式記録発表後30分まで

第86回東京陸上競技選手権大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。

競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm> QRコードもご利用下さい。

競技会コード 23 50 1403 競技場コード 132090

